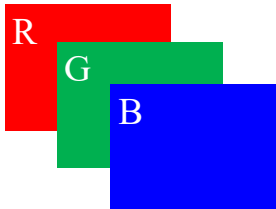


コントラストテストCT-1用 キャリブレーションRGB-Filterと補正係数機能の追加

壺坂電機にて分光特性データを測定・管理するフィルターを用いて
コントラストテストに発生する機差を測定すために用います。

蒸着フィルターを用いることでサンプルの温度に起因する測定差を軽減します



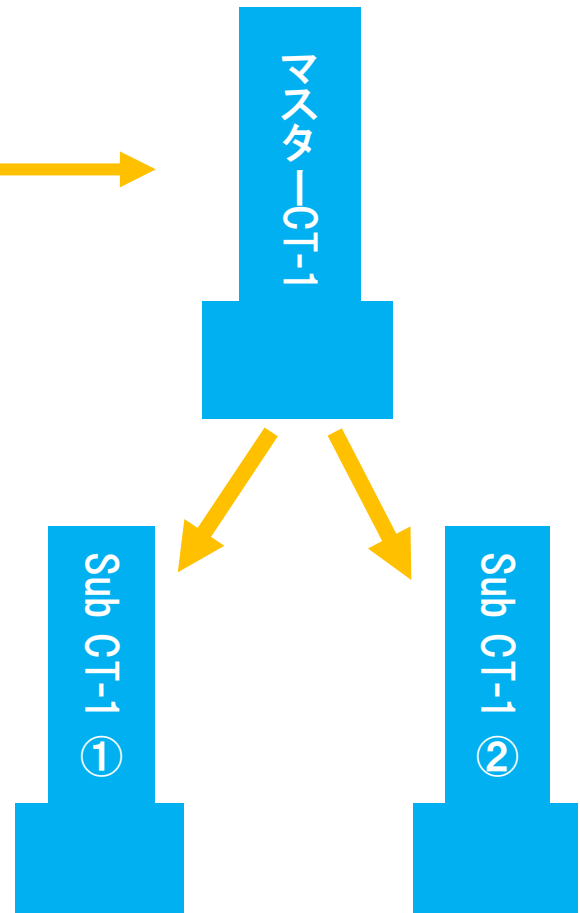
壺坂電機にて測定・保証

機差が考えられる構成部品

- ・光源
- ・偏光板
- ・輝度計

機差の主な要因

- ・経年劣化
- ・光学部品のLot差
- ・周囲温度、その他環境



RGBフィルタの測定値 参考

サンプル情報	コントラスト	Max輝度値	Min輝度値
ブランク	20129.1	2004.86	0.0996
蒸着フィルター-レッド	382.1	12.19	0.0319
蒸着フィルター-グリーン	943.1	791.44	0.8392
蒸着フィルター-ブルー	268.0	38.63	0.1441

光源: CCFL 2000cd/m²
輝度計: CS-2000A
弊社マスター機での値

使用方法例 (Max側・Min側に対して補正をかける場合)

- ①御社で定めたマスター機にてRGBフィルターを測定する
* Max/Minのコントラスト値ではなく、Max側、Min側のそれぞれの輝度値を控える
- ②Sub機にて同じRGBフィルターを用いて測定する
- ③計算された差分から、Sub機に補正をかける
* Max/Minのコントラスト値ではなく、Max側、Min側それぞれの輝度値を比較する

※RGBフィルタは壺坂電機にて出荷時に分光透過率測定を行います。

※マスター機とSub機とで光源ランプの種類、Max側輝度を揃えることを強く勧めます。

※コントラスト値に補正係数をかける形での利用も可能です。裏面の「補正係数機能」をご覧ください

補正係数機能の追加

CT-1のPC制御ソフトウェアに補正係数機能を追加しました！

色度に依存している場合での機差を軽減することができます。

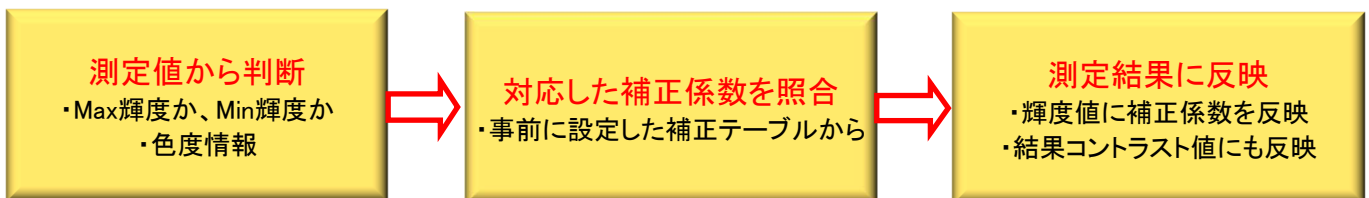
※補正係数機能のレスオプションも設定しております。

※軽減できないサンプル条件が発生する場合があります。

補正値の判定と反映先

測定時に取得する色度(x,y)から、予め設定した補正係数を反映します。

補正された状態の輝度が測定値として表示されます。



対象機種

CT-1-STB1, CT-1-STB1, CT-1-STC1, CT-1-PB1, CT-1-PS1, CT-1-PC1, CT-1-ATSシリーズ

補正値の設定方法

補正係数の設定は「ツール」から行います。

Max輝度、Min輝度それぞれで最大25点を登録することができます。

「中心座標」「中心座標に対しての有効範囲」「補正値」を登録します。

- ①Max輝度かMin輝度か対象とする測定条件を選択します
- ②補正を有効にする中心座標を入力します
- ③有効範囲を設定します
正方形以外も設定可能です
- ④補正値を設定します
- ⑤該当No.の入力された情報を消去します
- ⑥すべての情報を保存し、この後の測定結果に反映します

